
美少女なんてありえない

サトイモ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

美少女なんてありえない

【Nコード】

N8949Z

【作者名】

サトイモ

【あらすじ】

とある事情で友達も作らず、微妙に引きこもりになっていた少年、美里 晶は高校入学前に引越す事になり、新居での翌日、目を覚ましたら何故か女になっていた。晶が男であった事を覚えているのは父と母のみで、住民票から戸籍まできっちり女性扱いに。

男の時でもアキラLOVEだった父はおおはしゃぎで、母は冷静に女の子教育を開始。本人は混乱しつつ流されつつ『目立たないように過ごそう!』とするお話の予定です。

プロローグ

鏡をじつと見る。

ちよつと釣りあがった、大きな二重の瞳がこちらを見返してくる。顔の輪郭はすつきりした卵型で、眉毛は太すぎず細すぎず。すらっと通った鼻筋に、何も塗ってないのにキレイなピンク色の小さい唇。

漆黒でつやつやな髪の毛は、前は眉毛にかかるくらい。横は軽く内に跳ねて頬に少しかかっている。後ろは背中の中間くらいまで伸びており、先つちよを軽く黄色いリボンで結んでいる。

父さんはかわいいかわいいとてもかわいいと、母さんは私に似てほんとうに美人ねえ、私に似てて、などと良く言ってくるので、恐らく可愛くて美人なのだろう。

Yシャツの第一ボタンをとめ、学校指定である一年生用の、緑色で短いネクタイを締める。濃紺で所々金色に縁取りされた襟元が大きく開いたブレザーを羽織る。

厚手の生地の上からでも十分にわかる大きなふくらみを、手でぽふぽふと持ち上げる。はつきり言って大きい。ぶっちゃけて言うところ巨乳だ。人を見る分には目の保養で済むのだろうが、自分にくつついているとなるとありていに言って邪魔なだけだ。

腰はやや詩的な表現をすると柳のように細く、お尻は大きすぎず小さすぎずにツンツと持ち上がっている。赤いフレアスカートの先からは、細くすらつとした長い脚。

なんか面倒になってきた。当然ながら肌もきめ細かくて美しいら

しいですよ？要するにかわいくて美人でスタイルも抜群という事らしいのだ。自分ではいまいち自覚できないのだが……。

「行つてきます」

と母さんに一声かけて、表に出る。中学卒業を待たずに引越してきた、まだ二ヶ月もたっていないピカピカの新居を出て、テクテクと歩いて登校する。

この春から通っている光泉学院高校までは、住宅街を抜けて商店街へ駅前通りを抜けるまで15分、そこから更に10分弱の、合わせて30分かかる程度。自転車通学が認められている距離ではあるが、慣れないスカートで自転車に乗るという行為がどうにも不安だったので、諦めて徒歩で通っている。

学校に近づくにつれ、同じく登校中の生徒も増えてくる。他の人に目を合わせないで済むよう、目立たないよう、うつむき加減になりながら道を進む。別にいじめられている訳ではないデス。間違つてクラスメートに遭遇したりして教室までおしゃべりをする等という事態を避ける為の、自衛の手段なのデス。その他諸々もありまして。

チャイムが鳴りだすキツチリ10分前に正門に到着。生活指導の先生が門の横に立っているが、近隣では名の通った進学校であり周囲の治安も良く生徒のモラルも高い事から、仕事がないと思われるいや、授業も担当してるから仕事がないというのは言い過ぎか。その先生に軽く会釈をして正門を通過。

今日も何事もなく過ごせますように。変なボ口を出さずに済みま

すように。目立たず、騒がず、ひっそりと。そうだ、今日は本屋に寄ってから帰ろうかな。と、一限さえ始まっていないのに帰りの事を考えたりしつつ下駄箱を開けると……。

ラブレター

誰かと間違えてたりしてないかな。というか間違いであって欲しいんだがな。

裏返すと、宛名が書いてありましたよ。

『美里 晶』様

様付けとは丁寧デスネ……。美里 晶。ミサト アキラ。うん、オレの名前だ、間違いなんです。

せめて女の子からなら……。いや女の子からでもどうしようもないけど。オレも今は女だしな。でも男と付き合う気はないな。元々そんな異性に興味はなかったけど、女になったから男と付き合いますとかありえない。友達さえ作らなかったのに彼氏とかホントありえない。ありえない……

というか少しくらい噂になってもいいだろ、美里 晶は男に興味は無いって！オレは入学してしてから何人ふったと思ってる！？ああ、自分でも嫌なセリフだなこれ！俗に言うイヤな女だな！！オレが悪いのか？なにもしてないのに！大人しくしているのに！ううー！！！！

「……今日からは『ワタシに関わるなオーラ』を120%増しで出して過ごそう」

そつつぶやいて足取りも重く教室に向かっただった。

プロローグ（後書き）

初投稿なので見苦しい点が多々あると思いますが打たれ弱いチキンなのでご容赦を。

微妙にリアル、微妙にファンタジーで行きたい所存です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8949z/>

美少女なんてありえない

2011年12月28日02時46分発行